

広報

あかいけ

9

崩壊した崖
 処置に挑む町消防団

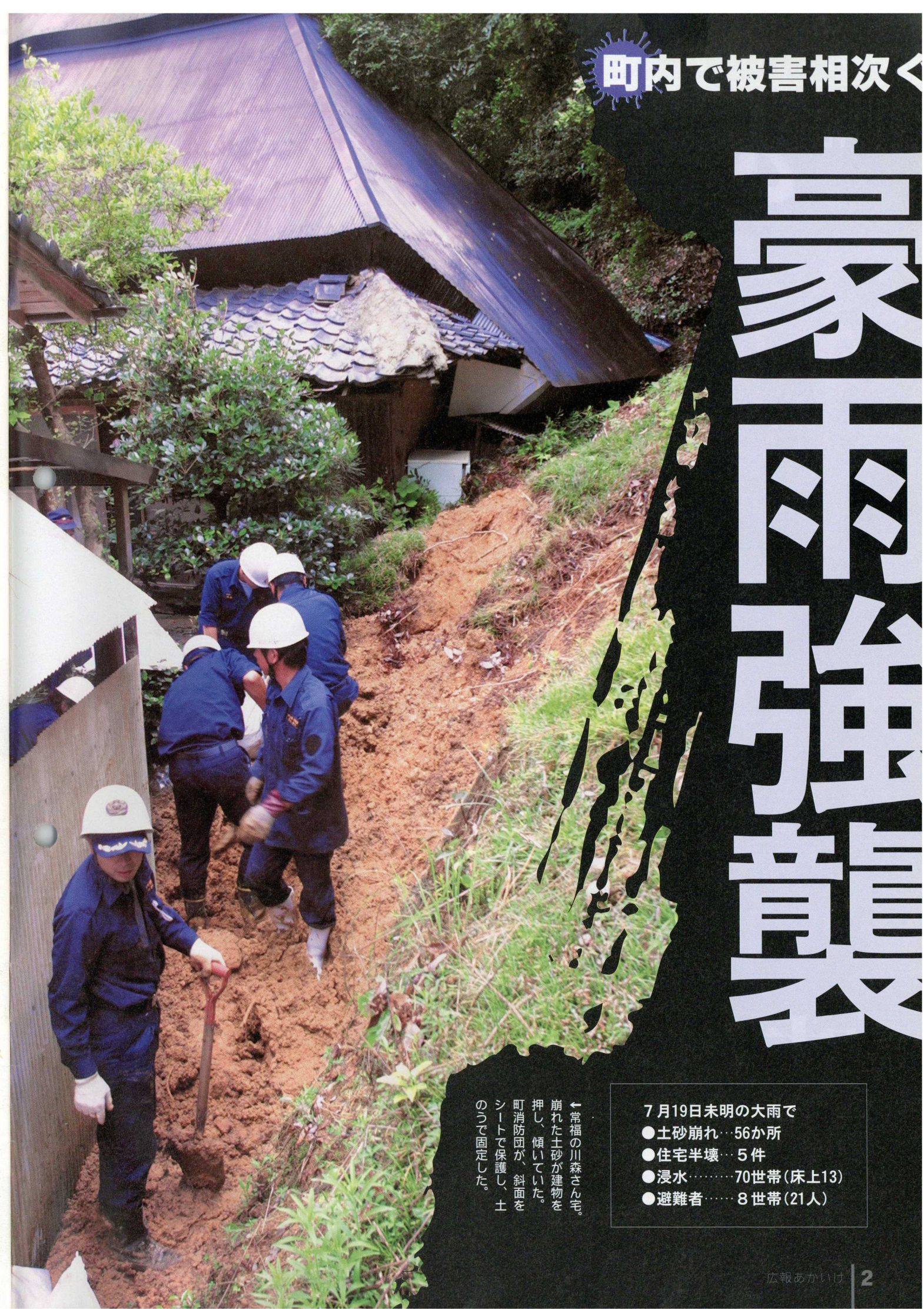
二次災害を防ぐために
 懸命な作業が続いた……

◎ 特集

防災

豪雨被害を教訓に
 台風に備える

豪雨強襲



←常福の川森さん宅
崩れた土砂が建物を
押し、傾いていた。
町消防団が、斜面を
シートで保護し、土
のうで固定した。

- 7月19日未明の大雨で
- 土砂崩れ…56か所
 - 住宅半壊…5件
 - 浸水…70世帯(床13)
 - 避難者…8世帯(21人)

7月19日未明から激しさを増した雨…
バケツをひっくり返したようなドカ雨は
土砂崩れや浸水など、町内に多くの被害
を引き起こしました。いったん雨でゆる
んだ斜面などは、大雨や強風で災害を起
こしやすい危険な状況となっています。
今後は台風への備えが重要です。そこで
今回は、7月の豪雨被害を教訓に、台風
に対する心構えと対策を考えます。

4時間で161ミリの豪雨が町を襲った

強烈な雨が降ったのは7月19日未明、午前2時から4時間で161ミリというところもない雨量でした。国土交通省の上野観測所では、午前4時から5時までの1時間で61ミリの降水量を記録しました。この雨は停滞する梅雨前線に向かって、九州西南海上から

大量の水蒸気を含んだ空気が舌状に流れ込む「湿舌」に、中国大陸や太平洋高気圧から湿った空気が流入し、ぶつかり合い、強い積乱雲が次々と発生したためだとされています。急速に発達した積乱雲は九州各地にピンポイントで大雨を見舞いました。18日16時から19日8時までの降水量は218ミリ。特に短時間の集中豪雨が、私達の寝静まる間に降り注ぎました。



土砂崩れて半壊した高尾の倉岡さん宅

防災 / 豪雨状況

雨の強さと降り方		
1時間雨量	降り方	予測災害
10~20mm やや強い雨	・ザーザーと降る ・地面からの跳ね返りで足元がぬれる ・雨音で話し声が良く聞き取れない ・地面一面に水たまりができる	・長く続く時は注意が必要
20~30mm 強い雨	・どしゃ降り・傘をさしてもぬれる ・寝ている人の約半数が雨に気がつく ・ワイパーを速くしても見づらい	・側溝や下水小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30~50mm 激しい雨	・バケツをひっくり返したように降る ・道路が川のようになる ・ハイドロプレーニング現象が起きる	・山崩れ崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難が必要
50~80mm 非常に激しい雨	・滝のように降る ・傘は全く役に立たない ・水しぶきあたり一面が白くなる ・視界が悪くなる ・車の運転は危険	・土石流が起こりやすい ・マンホールから水が噴出 ・多くの災害が発生する
80mm~ 猛烈な雨	・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる	・大規模災害が発生、厳重な警戒が必要

最大1時間

61ミリの雨量

